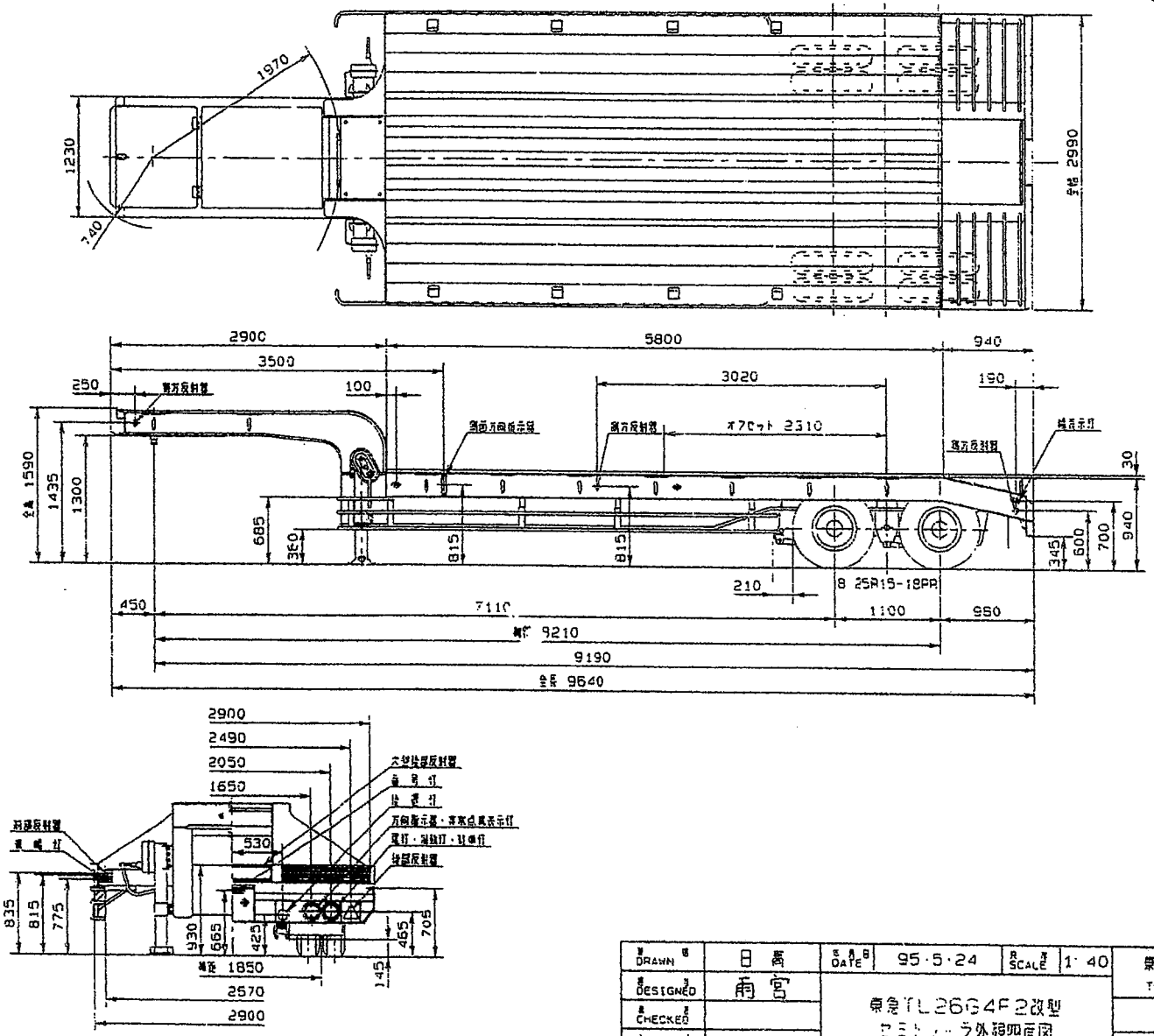

DRAWN	日高	DATE	95・5・24	SCALE	1:40
DESIGNED	南宮	東急TL2664F2改型 セミトレーラ外観四面図			東急車輌製造株式会社 TOKYU CAR CORPORATION
CHECKED					TY-3906669
APPROVED	[illegible]				

13793

第２号様式

長陸車 第 220 号
平成 7 年 8 月 8 日

東急車輛製造株式会社　殿

新潟運輸局長野陸運支局長

改造自動車等審査結果通知書

指示事項：　本改造は車台番号 TL26G4F2-0098 の一台限りとする。
当該車両のけん引車は、車名：ニッサンディーゼル 型 式：KC-CW631GNT
(類別 001 第5輪 2.5トン) で連結検討した。
当該車両は 道路運送車両の保安基準 幅 について緩和を要する。

主要諸元比較表　（改造，試作，組立）

届出者の氏名又は名称	東急車輛製造株式会社	種別用途	普通貨物

項目	標準車	改造車	基準	項目	標準車	改造車	基準
車両重量 kg	5670	6430	—	車名	東急	←	—
乗車定員 人			—	型式	TL26G4F2	TL26G4F2カイ	—
最大積載量 kg	20250	19500	—	形状	セミトレーラ	←	—
車両総重量 kg	25920	25930	≦26t ( )	原動機の型式			—
				総排気量 ℓ			—
				燃料の種類			—
主要諸元 長さ m	9.280	9.640	≦12	軸距 m	6.910+1.100 =8.010	7.110+1.100 =8.210	—
幅 m	2.490	2.990	≦2.5				
高さ m	1.490	1.590	≦3.8				
室内又は荷台の内側の寸法 m 長さ	5.800	←	—	最小回転半径 m		* 9.8	≦12
室内又は荷台の内側の寸法 m 幅	2.490	2.990	—	オーバハング ボデー後端まで m	0.730	0.980	≦⊕W-4 L. (4.105)
室内又は荷台の内側の寸法 m 高さ			—	荷台オフセット m	2.310	←	—
空車時 前	1730	2060	—	タイヤ サイズ 後前	8.25R15-18PR	←	—
空車時 後前	1970	2185					
空車時 後後	1970	2185		タイヤ サイズ 後後	8.25R15-18PR	←	
荷重分布 kg							
積車時 前	8000	7940	≦10t ( )				
積車時 後前	8960	8995					
積車時 後後	8960	8995					
荷重分布 kg							
積載時前輪荷重割合 %			≧18 20	積車時 タイヤ 前			
				積車時 タイヤ 後前	87.0	87.3	
				積車時 タイヤ 後後	87.0	87.3	≦100
				荷重割合 %			
輪距 m 後前	1.850	←	—	最大安定傾斜角度 ° 左	53	* 50	一般≧8.5 (3.0)
輪距 m 後後	1.850	←		最大安定傾斜角度 ° 右	53	* 50	

能力強度等検討			
制動能力	路力 -- kg -- km/h -- m	車わく強度	σ_B/σ = 4100 / 487×2.5 = 3.3>1.6
	空気圧 ----- kg/cm²	車軸強度	〃 = / × = × 〃
推進軸 回転数	N_c/N = --- / --- = --	操縦装置	—
推進軸 強度	σ_B/τ = --- / --- = --	懸架装置	〃 = / × = × 〃
		制動装置	〃 = / × = × 〃
		連結装置	〃 = / × = × 〃

注1．主要諸元比較表右肩（ ）内の改造，試作，組立は該当するものを ○ で囲むこと。
注2．能力強度等検討欄に必要としないものは —，省略したものは × を記入すること。
注3．*印は ニッサンディーゼルKC-CW631GNT 型トラクタと連結時の計算値を示す。

類別 001

整番	TY-3908669

001

改造概要説明書

目的	トラクタの後部との干渉防止を計る為、トレーラ ゲースネック部を延長し、カプラ高さに合わせて連結部高さを２軸車用(1200mm)から３軸車用(1300mm)に変更する。
車体	荷台部床板破損防止の為、道板（5800×800×30mm）を両側に取付ける。
軸距	8010mmより8210mmに（200mm）延長する。
輪距	標準車と同一。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	標準車と同一。
操縦装置	
制動装置	標準車と同一。 但し、駐車制動装置をハンドル式→スプリング式に変更する。
懸架装置	標準車と同一。
連結装置	標準車と同一。
車わく	ゲースネック部先端を１９０mm、フレーム後部傾斜面を２５０mm延長し、 トラクタのカプラ高さに合わせて、連結部高さを1200mmより1300mmに変更する。 アウトリガーは両側500mm長い同一品の一体物を使用し荷台部の幅を広くする。
その他	本トレーラは東急TL26G4F2型セミトレーラ、類別001（6自審第506号 新型自動車第15616号）の一部を改造するものである。

整番	TY-3908669

13793